

「異質文化交流と日本の活力に関する研究会」について

1. 研究会の目的

平成 16 年 5 月に国土審議会調査改革部会で取りまとめられた「国土の総合的点検 - 新しい“国のかたち”へ向けて -」において、目指すべき“国のかたち”の一つとされた『世界に開かれた国土の形成』に関して、「我が国の活力を我が国の資本と人的資源だけで維持するのではなく、積極的に外資導入や外国人受入れ環境の整備を図り、外国の高水準で多様な頭脳を取り入れ、異質な考え方、技術、ノウハウ、文化などが我が国の優れた頭脳とぶつかり合い、刺激を与え合うことで新しい創造を生み出すことが重要である。」と記述されています。

2006 年をピークにして始まる総人口の減少社会の中にあっても、日本が今後とも中長期的に「国の総合力」を高めつつ、国内にとっても、世界にとっても、「存在感のある国」を築いていくためには、「異質文化交流と日本の活力」との関係について、十分検討する必要があります。

特に、アジアへの重心を高めつつ進展している日本のグローバル化については、これまでの「外に出るグローバル化」から「内に迎え入れるグローバル化」へと深化させ、こうしたグローバル化を通じた国際的な交流の活性化や国際競争力の強化等もその一環として重要です。

また、日本の「地域の活力」を向上させ、新しいライフスタイルを創出するためにも、こうした動きを地域で活かしていく必要があります。

こうした観点を踏まえ、「異質文化交流と日本の活力」等について、日本の長い歴史的環境や「日本の風土」等も踏まえ、「内なるグローバル化」に支えられた「新しい国土のイメージ」を描きつつ、多様な観点から検討を行う研究会を設置しました。

2. 研究会委員

座 長：伊藤 滋（早稲田大学特命教授）

委 員：梶原 拓（（財）岐阜県イノベーション振興事業団会長・前岐阜県知事）

川勝 平太（国際日本文化研究センター副所長・教授）

神崎 宣武（民俗学者）

神田 玲子（総合研究開発機構総括主任研究員）

鬼頭 宏（上智大学経済学部教授）

小林 勇造（（株）野村総合研究所顧問）

鈴木 輝隆（江戸川大学社会学部教授）

関 悦子（（株）ア・ラ・小布施取締役企画部長）

葉山 滉（福井県立大学経済学部教授）（五十音順）

(検討状況等)

	開催日時	検討事項
第1回	平成17年3月24日(木)	日本政策投資銀行地域企画部 水野雄司氏講演 「地球規模で発想する地域」
		総合政策局志村格参事官発表 「観光立国の推進について」
		神田玲子委員発表 「NIRA 『人口減少と総合力報告書』について」
第2回	平成17年5月10日(火)	(株)ベネッセコーポレーション 笠原良二氏講演 「ベネッセアートサイト直島と異質文化交流」
		関悦子委員発表 「長野県小布施町における取組み」
第3回	平成17年7月19日(火)	北海道ニセコ町長 逢坂誠二氏講演 「ニセコ町における異質文化交流」
		事務局 岩瀬忠篤計画官報告 「異質文化交流と日本の活力に関するアンケート調査結果等」
		鈴木輝隆委員発表 「異質文化との交流による地域の活性化方策」
第4回	平成17年9月28日(水)	神崎宣武委員発表 「民俗学からみた江戸時代の異質文化交流」
		「異質文化交流と日本の活力に関する研究会報告書(案)」について